

# つなぐ

Vol.27

2019.6月

2019年3月、7年ぶりに不整脈非薬物治療ガイドラインが改定され、心房細動への治療選択において、アブレーションを第一選択とすることも可能になった。

今回のガイドライン改定により、従来、アブレーションは薬物治療が無効または副作用で継続できない場合とされてきたが、症候性で再発を繰り返す発作性心房細動の場合には、抗不整脈薬による治療を試みる前に第一選択としてアブレーションを施行することを、クラスIIaで許容された。薬物治療とアブレーションのどちらも第一選択の扱いになったことが、大きな変更点の一つだ。

持続性心房細動では心不全症状を合併する場合、抗不整脈薬の使用が難しい。この場合にはカテーテルアブレーションで、息切れの改善を得られることがある。もちろんこれまで通り、年齢・症状・進行度を総合的に評価することに変わりはない。

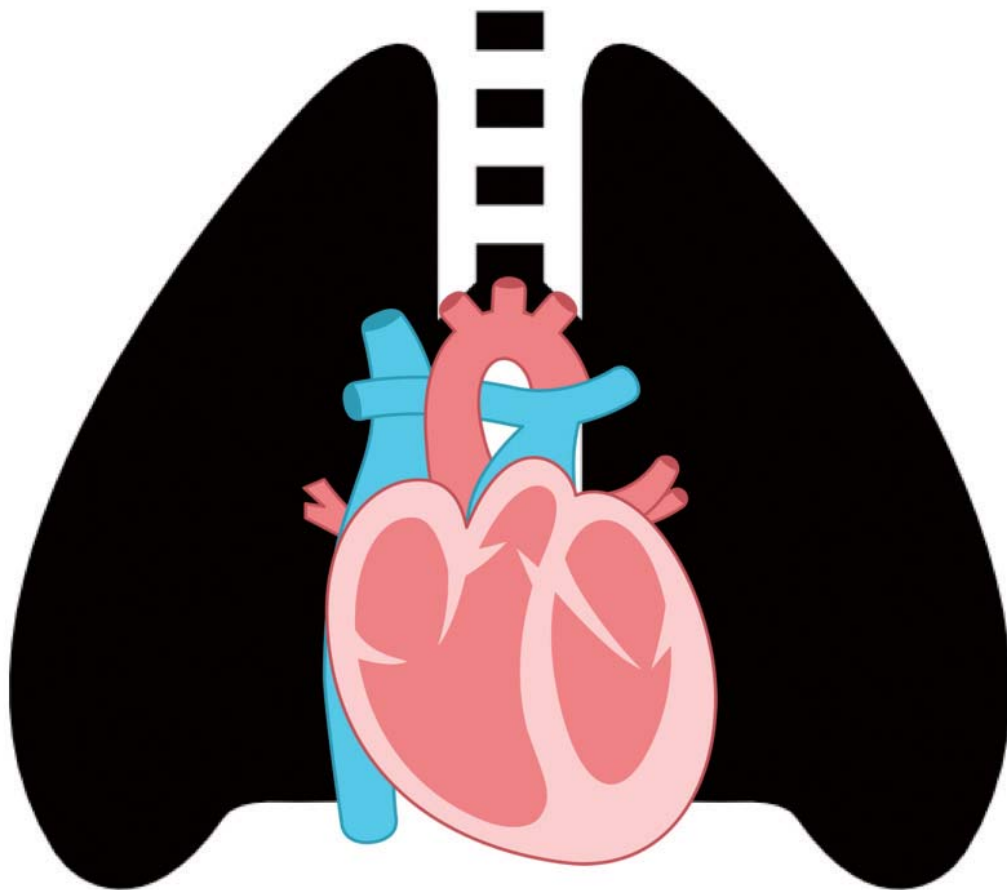
年間1,000例を超える当院のアブレーションは、日本の心房細動治療を左右するエビデンスとなる。私たちはその責任を自覚し、今日の医療を未来の医療につなげていく。



参加費  
無料

# 第36回 小倉循環器内科セミナー

日時／2019年6月26日(水)19:00～20:30 場所／小倉記念病院 4F講堂 [主催]小倉記念病院 循環器内科



## 肺高血圧症の 血管イメージングと治療



久留米大学医学部内科学講座  
心臓・血管内科部門 主任教授 / 副院長

福本 義弘 先生

軽食をご準備しております

参加  
方法

6月24日(月)迄に、同封しておりますセミナー参加申込用紙に、必要事項をご記入の上、  
小倉記念病院 医療連携課までFAXにてご返信ください。医療連携課 FAX.0120-020-027



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3-2-1

TEL.093-511-2000(代表)